

# 令和7年度第2回蕨市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和8年2月4日（水） 午後3時～午後4時

2. 会 場 市庁舎5階 委員会室

## 3. 出席者（敬称略）

市 長：頼高 英雄

教育長：松本 隆男

委 員：萩原 敏行、尾方 香里、石山 大介、中村 美音

事務局：【市長部局】佐藤 慎也（理事）、阿部 泰洋（総務部長）、佐藤 則之（総務部次長政策課長事務取扱）、松永 祐希（商工観光課長）、菊地 雅治（政策課係長）、石黒 沙織（政策課主査）

【教育部局】加納 克彦（教育部長）、吉岡 雅彦（教育部次長学校教育課長事務取扱）、石丸 岳広（教育部副参事給食センター所長事務取扱）、白鳥 幸男（教育総務課長）、桑島 勝彦（生涯学習スポーツ課長）、佐藤 昌史（図書館長）、成田 慎治（中央公民館長）、荒川 恵子（西公民館長）、咲間 悟（学校教育課主幹学校保健係長事務取扱）、駒崎 崇也（教育総務課庶務係長）、峠館 春介（学校教育課指導係長）

## 4. 内 容

### 1 開会

【阿部総務部長】

ただいまから、令和7年度第2回蕨市総合教育会議を開会いたします。

### 2 あいさつ

【阿部総務部長】

はじめに、頼高市長からご挨拶をお願いいたします。

【頼高市長】

皆さまこんにちは。蕨市長の頼高英雄です。本日は、令和7年度第2回蕨市総合教育会議にご参加いただき、ありがとうございます。また、教育委員の皆さまには、日頃から蕨の教育行政の推進に大変ご尽力いただき、市長として感謝申し上げます。

さて、本日の総合教育会議につきましては、「令和8年度教育事業の概要(案)」について、ご報告をいただくことになっております。後ほど、資料に沿って担当からご報告をさせていただきますが、私からは、新年度の予算や施策のなかで、教育に関わる部分についてお話をさせていただきます。

ご承知のとおり、全国的に不登校の児童・生徒が増えている中で、今年度、蕨市では、市内3中学校全てに校内教育支援センター(e-station)を整備し、専任の教員とスタッフを配置して、取り組みを進めております。近年、中学生だけでなく、小学生の不登校児童も増えている状況の中で、新年度は、市内小学校7校のうち、4校に校内教育支援センター(e-station)を整備し、スタッフを配備することも、予算として計上させていただく予定です。

また、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、よりきめ細かな支援ができるよう、特別支援員を5名増員し、計15名と拡充します。

さらに、学校給食費ですが、小学校については、国が全額財政負担をすることが示されたため、これを活用し、内容を充実させながら無償化を実施します。中学校については、引き続き、2人目以降の無償化と、内容を充実させながらも給食費は上げず、差額を市が負担することで、保護者の負担軽減に努めてまいります。

次に、学校のトイレ改修について、今年度は中央・南・東小学校の小学校3校での工事が、ほぼ終了したと聞いております。改修が完了した学校では、子どもたちが、大変喜んでいるとの声もいただいております。令和8年度は、残りの小学校4校の改修工事、中学校3校の翌年度に向けた設計を行う予定です。

さらに、児童・生徒間や保護者間のトラブル等、教職員も苦労をしながら対応しておりますが、その支援の一つとして、スクールロイヤー制度を導入します。何かあった時に、迅速に対応していただく体制を構築することにより、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境や、教職員の負担軽減などにつながるものと思います。

また、学校体育館へのエアコン設置を順次進めておりましたが、昨年度をもって、全て完了いたしました。新年度は、市民体育館アリーナへの空調設備設置に向けた設計予算を計上しており、競技への影響がないよう設計を進めていく予定です。

最後に、現在、駅前の再開発事業の工事が順調に進んでおりますが、その中に公共公益施設として、行政センターと図書館が整備される予定です。新図書館整備の基本方針は、現在策定中であり、パブリック・コメントで広く意見を皆さまからお伺いしたところでございます。蕨の玄関口に位置するという条件を生かし、平日は学校・仕事帰りにも使えるよう、開館時間を午後9時までとし、ICT技術を活用した自動貸出機の導入や予約本を自動で受け取れるコーナ

一、新聞等を閲覧しながらコーヒー等を飲めるカフェスペースなどを整備する予定です。また、児童書が充実しているという蕨の図書館の特色を生かし、魅力ある子どもエリアの設置も含めた方針案を策定し、新図書館の整備に向けた具体的な作業を進めていきたいと考えております。

さて、いくつかお話しさせていただきましたが、後ほど各担当より説明がございますので、委員の皆さまには忌憚のないご意見をいただき、新年度、更に教育行政が充実・前進できるよう、お力添えをお願いいたしまして、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議題

【阿部総務部長】

ありがとうございました。それでは、要領第3条の規定に基づきまして、会議の議長を頼高市長にお願いさせていただきます。

市長、よろしくお願いいたします。

【頼高市長】

はじめに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、総合教育会議は公開することとなっていますが、本日の会議に傍聴の希望者はいらっしゃいますか。

【阿部総務部長】

本日は、傍聴希望者はありません。

#### (1) 令和8年度教育事業の概要（案）について

【頼高市長】

それでは、会議次第に基づきまして、会議を進行いたします。議題（1）の「令和8年度教育事業の概要（案）について」です。事務局から説明をお願いします。

【白鳥教育総務課長】

はじめに、令和8年度教育事業の概要案についてご説明させていただきます。別紙資料1、1ページの蕨市教育大綱の抜粋をご覧ください。

教育の目標や施策の根本的な方針である大綱は教育基本法第17条に基づき定めるものとされており、蕨市教育大綱は第3期蕨市教育振興基本計画におい

て、蕨市の教育の目指す姿として掲げる基本理念、基本方針、基本目標、共通の視点を骨子として構成しています。

令和 8 年度教育事業の概要案は、この蕨市教育大綱を基に基本目標に掲げる「①学びあい高めあう学校教育の充実」「②生涯学習を支える社会教育の充実」「③どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」の各分野において実施するものです。

令和 8 年度は、昨年度と同数の 20 事業を掲載し、そのうち新規事業は 5 事業です。各事業の内容の説明につきましては、それぞれ基本目標ごとに各担当課からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 基本目標Ⅰ「学びあい高めあう学校教育の充実」

### 1 教育センターの効果的な運用

【吉岡教育部次長】

予算額は 7,673 万円です。教育相談、日々草学級・日本語特別支援教室の運営のほか、ICT 機器を活用したオンライン会議も組み合わせながら、教職員研修を行ってまいります。

### 2 学校における ICT の効果的な活用

【吉岡教育部次長】

予算額は 1,734 万 6,000 円です。令和 7 年度に 1 名増員し、2 名配置となった ICT 支援員を活用し、教材作成支援教員や児童・生徒への端末操作支援を始め、校内研修の企画運営支援、また、教職員ポータルサイトを活用した研修動画の提供や、効果的な事業活用事例の紹介等を通して、各学校での ICT 機器の活用が積極的かつ効果的に進むよう支援してまいります。あわせて、令和 7 年 10 月末に一斉更新した G I G A 端末を有効的に活用してまいります。

### 3 A L T や英語 4 技能テストを活用した外国語教育

【吉岡教育部次長】

予算額は 5,320 万 5,000 円です。令和 7 年度に引き続き、市内全小・中学校に 1 名ずつ A L T を配置いたします。A L T の効果的な参画による授業や教材開発、A L T と生徒が一对一で行うパフォーマンステストの実施を通して、児童・生徒の学習の習熟度を適切に把握し、個々の学習改善や教職員の指導改善を行ってまいります。あわせて、中学校 2 年生及び 3 年生を対象として、英語 4 技能テストである G T E C を、引き続き実施いたします。

令和 8 年度につきましても、GTECの実施及びGIGAスクール端末を活用した外国語学習、また、テスト結果の詳細な分析に基づく教職員研修を組み合わせ、生徒の外国語活用能力の一層の向上を図ってまいります。

#### 4 日本語特別支援教育支援員による日本語指導の実施

【吉岡教育部次長】

予算額は 759 万 8,000 円です。蕨市教育センターと、令和 7 年度に塚越地区に整備した日本語特別支援教室の 2 教室で、日本語特別支援教育支援員 2 名体制の下、日本語を母語としない児童・生徒への支援を行ってまいります。

#### 5 特別支援教育支援員の増員

【吉岡教育部次長】

予算額は 1,375 万 8,000 円です。通常学級における教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の増加に対して、特別支援教育支援員を令和 7 年度の 10 名から 5 名増員し、15 名体制にすることで、学習面や生活面に関して、よりきめ細やかな支援を行ってまいります。

#### 6 校内教育支援センターの拡充

【吉岡教育部次長】

予算額は 4,386 万 6,000 円です。令和 7 年度に、学びの保障と居場所づくりを目的に、各中学校に校内教育支援センター（e-station）、通称「エスタ」を設置し、市費採用の臨時教員とサポートスタッフを雇用いたしましたが、令和 8 年度は新たに東小・西小・南小・中央東小の小学校 4 校を拠点として、市費採用の臨時教員を雇用し、児童・生徒に対して積極的に関わり、不登校対策の更なる充実を図ってまいります。

#### 7 デジタル教材整備・活用事業

【吉岡教育部次長】

予算額は 866 万 3,000 円です。個に応じた学びを提供するため、小・中学校においてデジタルドリルを整備します。学校において、児童・生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着や、児童・生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による指導の個別最適化を図ることができるよう、デジタルドリルの効果的な活用を図ってまいります。

このほか、不登校児童・生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等にかかる教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進してまいります。

## 8 水泳指導民間委託

【吉岡教育部次長】

予算額は3,034万3,000円です。令和7年度は東小・西小・南小・中央小学校において、民間施設を活用した民間委託方式での水泳事業を検証実施しているところですが、令和8年度に北小学校を加えた小学校5校に拡充して、検証を実施してまいります。

## 9 部活動の地域展開

【吉岡教育部次長】

予算額は699万1,000円です。部活動に関して、より良い地域展開・地域連携について検討していくため、令和8年度も令和7年度と同様に、陸上・柔道・剣道・水泳の4種目で、年間45回実施してまいります。

## 10 スクールロイヤー制度の導入

【吉岡教育部次長】

予算額は165万円です。弁護士による児童・生徒間や保護者間のトラブルへの助言や、学校が抱える問題に対する法律相談、教職員への研修会を実施するために、スクールロイヤー制度を導入してまいります。法的観点からの早期助言により、問題の深刻化を防ぎ、教職員が教育活動に専念できるように環境を整備してまいります。

## 11 学校トイレの改修

【白鳥教育総務課長】

予算額は5億6,242万6,000円です。教育委員会では、小・中学校の教育環境の改善を目的に、校舎のトイレ改修を計画的に進めております。

令和8年度は、西小・北小・中央東小・塚越小学校において、校舎内トイレの洋式化を含めた全面改修を実施するとともに、次年度の改修工事に向け、中学校3校の設計委託を行う予定としております。

## 12 学校照明のLED化

【白鳥教育総務課長】

学校照明のLED化は、一般照明用蛍光灯が2027年末で製造終了になることを見据え、校舎及び体育館照明のほか、中学校の夜間照明灯のLED化を計画的に進めるものです。

令和 8 年度から順次更新工事に着手し、令和 9 年度からのリース開始を予定しております。なお、本事業は債務負担行為により実施するため、令和 8 年度の歳出予算計上はなく、令和 9 年度以降に予算計上を行う予定です。

### 1 3 コミュニティ・スクール事業の推進

【吉岡教育部次長】

予算額は 35 万円です。現在、東小・塚越小・東中の 3 校の東中学校区、西小・北小・第二中の 3 校による第二中学校区、南小・第一中の 2 校による第一中学校区、独立として中央小、中央東小がコミュニティ・スクールを設置し、市内全ての小・中学校で、学校運営や学校教育活動に対して、保護者や地域の方が参画できるようにしておりますが、令和 8 年度につきましても同様に実施してまいります。

### 1 4 小学校給食費の無償化及び中学校給食費の負担軽減

【石丸教育部副参事】

予算額は、1 億 9,973 万 8,000 円です。

小学校給食費の無償化については、国が進める学校給食費の抜本的な負担軽減、いわゆる給食無償化によって、保護者が負担してきた公立小学校の給食費を大きく引き下げる制度です。給食費の抜本的な負担軽減とあるように、国が全国全ての給食の無償化を行うということではございませんが、所得制限なしで公立小学校の児童を対象とし、月額 5,200 円を基準に補助することから、本市においても保護者負担を無償化するものです。

中学校給食費の負担軽減については、昨年度に引き続き、原油価格や物価高騰の影響を受けている食材費について、保護者の負担増を抑制するため、学校給食費月額 4,900 円を据え置き、市が食材購入費のうち、物価高騰分について公費負担を実施するものです。

あわせて、第 2 子以降の学校給食費を償還払いにより全額補助し、実質無償化する事業を継続いたします。

【頼高市長】

それでは、基本目標 I 「学びあい高めあう学校教育の充実」について、皆さまよりご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【萩原委員】

校内教育支援センター（e-station）について、今年度新たに小学校 4 校を拠点として拡充されるということですが、現状の小学校の実態と、小学校に置くこ

とによって期待される効果について教えてください。

【吉岡教育部次長】

令和 7 年 12 月末の状況ですが、小学校で不登校 30 日以上については、合計 48 名となっております。昨年度と比較すると約 20 名少なくなり、改善されてきておりますが、学校と直接的な繋がりが無い子どももいます。校内教育支援センター（e-station）を置くことによって、このような子どもたちも学校と繋がることができるかと期待されます。

現在、中学校 3 校では登録者数が 32 名おり、昨年までは、学校と全く繋がっていなかった生徒が、校内教育支援センター（e-station）によって繋がりを持つことができた事例もございます。こうしたことから、小学校においても効果が期待できると考えております。

【萩原委員】

中学校で 32 名が登録しているということですが、その子どもたちに何か変化はあったのでしょうか。

【吉岡教育部次長】

校内教育支援センター（e-station）は、机に向かう勉強だけでなく、体験学習を取り入れることを重視しています。一例ですが、東中学校では子どもたちのアイデアを教員が汲み取り、稲づくりをしました。体験学習により、少しずつではありますが、コミュニケーションが取れるようになった事例があります。安心できる居場所があることにより、少しずつ心を開いてくれたり、学校に足を向ける回数が増えたりすることは、大きな変化だと思います。

【萩原委員】

校内教育支援センター（e-station）を 4 校増やすということですが、臨時職員の新たな雇用が必要となります。人によって効果が変わるとは思いますが、どういった人材を、どのような形で採用するなど条件はあるのでしょうか。

【吉岡教育部次長】

4 月からスタートするにあたって、すでに面接・採用を行っており、4 名の定員に対し、10 名の応募がありました。

校内教育支援センターの勤務時間は、9 時半から 14 時半であり、この条件がプラスになったと思われませんが、元教員経験者や、埼玉県などで働いていたが、子育て等のために退職した方など、たくさんの応募がございました。定員は 4

名ですが、それ以上に良い方がいたため、臨時的任用の県費負担教職員などで声をかけさせていただくなど、結果的に能力の高い方々が応募して下さった状況です。

【石山委員】

ALTの配置は継続し、中学2・3年生でG-TECを実施することですが、英語教員の資質の向上について、「授業をすべて英語で行う」という指針が出ておりますが、それに向けての教員研修を、蕨市においてはどのように行っているのでしょうか。

【吉岡教育部次長】

蕨市としては、以前より、外国語を専門とする指導主事を、必ず毎年置いております。このため、ALTの採用等に関して、専門的な分野から見ることができ、各学校への指導・助言に関しても、英語に長けた指導主事がおりますので、きめ細やかな指導ができていますと思います。学校数も多くありませんので、ALT研修も密に行うことができ、市の教育研究会の外国語研修会等での授業の助言もしております。こうしたことから、英語科の教員も、日々、力を伸ばしていると考えております。

【尾方委員】

特別支援教育支援員の増員について、今回10名から5名増員して15名体制になるということで、現場の難しさが伺えます。実際、どのような声が上がっているのか、現場で求められているものを教えてください。

【吉岡教育部次長】

特別支援教育支援員については、現在、各校に1名支援員がおります。支援が必要な児童・生徒の名前と状況を、毎年4月の頭に市教委に挙げてもらっておりますが、その人数が、徐々に増加しているのと合わせ、複雑化しております。医療的な治療を必要とする児童・生徒もあり、一人に対しての時間を増やしてほしいという声も、現場から上がっていました。支援が必要な児童・生徒の人数は、学校によって多い少ないが違うため、そういった部分を参酌して、支援が必要な児童・生徒が多いところや、教員の配置数が少ないところに支援員を当て、子どもと接する時間を多くしようと考えております。

【尾方委員】

小学校から中学校に上がる段階や、進級の段階で、支援員の担当の方が変わる

こともあると思います。その辺りの連携を、支援員同士でしていただけると、子どもたちも安心して生活に臨めると思います。

コミュニティ・スクール事業が、各中学校区に分かれています。中央小学校と中央東小学校はそれぞれ 1 地区となっています。小学校のみということで、中学校との連携が必要だと思いますが、どのようにされているのでしょうか。

【吉岡教育部次長】

コミュニティ・スクールは、塚越地区から始まり、全校で行うようになって、ちょうど今年でワンサイクルが終わります。このため、検証の年となり、現在、校長の人事評価時にヒアリングを行っております。

中央小と中央東小が単独になった理由としては、この 2 校だけが複数の中学校に進学するため、学区で分けることが難しく、単独となりました。中学校との連携の部分では、校長同士は校長会で話し合う場面もあり、連携ができております。また、生徒指導連携は、年度末などに各小学校と各中学校で連携しております。コミュニティ・スクールの広い部分での連携については、校長ヒアリングを受けて、教育委員会で検討したいと考えております。

【頼高市長】

それでは、資料 8 ページから 9 ページの基本目標Ⅱ「生涯学習を支える社会教育の充実」と、資料 10 ページの基本目標Ⅲ「どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」について、事務局から説明をお願いします。

## 基本目標Ⅱ「生涯学習を支える社会教育の充実」

### 1 西公民館等複合施設整備事業

【荒川西公民館長】

予算総額 7 億 6,831 万 2,000 円、うち複合施設建設工事及び管理委託料として、7 億 4,262 万 7,000 円を計上しております。令和 7 年度、8 年度の継続事業である複合施設建設工事を引き続き実施し、令和 8 年度末に完成予定です。あわせて、新施設で必要となる備品等を購入し、より使いやすく充実した施設となるよう整備を進めてまいります。

また、現在の西公民館及び松原会館の解体工事の設計などを実施する予定です。

### 2 蕨市新図書館整備基本方針に基づく移転への準備

【佐藤図書館長】

蕨市立図書館は、令和 9 年度中に蕨駅西口地区市街地再開発事業の B 棟 3 階

部分に整備される公共公益施設へ移転することが決定しており、新図書館の整備を進めていくにあたり、要点となる事項について方針を定め、広く周知するものとして「蕨市新図書館整備基本方針」を令和 8 年 3 月に策定する予定です。

令和 8 年度は基本方針に基づき、令和 9 年度の予算編成に向けた情報収集や、近隣市立図書館の先進事例の状況把握に努めるとともに、関係各課と連携を密にしながら、移転への準備を滞りなく進めてまいります。

なお、基本方針を策定するにあたり、広く市民の方にご意見をお聞きしたいと考え、1 月 7 日から 27 日にかけてパブリック・コメントを実施しましたところ、20 名の方からご意見をいただきました。現在、いただいたご意見に対する市の考えを作成しており、まとめ次第、図書館のホームページ上で公開する予定です。

### 3 蕨市自然体験活動事業

【桑島生涯学習スポーツ課長】

予算額は 206 万 5,000 円です。蕨市の子どもたちへの自然体験の機会として、令和 6 年度から推進している群馬県片品村および、栃木県大田原市での宿泊ツアーを令和 8 年度も継続して実施します。

「森林環境教育」や「農家宿泊体験」等を通じ、自然と触れ合うことで持続可能な社会の実現を考えるきっかけとし、生きる力や自然を大切にする心を育むとともに、集団生活による異年齢間交流により、生活環境や考え方の違いなどを相互理解しながら、自主性・協調性といった青少年の健全育成に重要とされる非認知能力の向上を目指してまいります。

### 4 音楽によるまちづくり

【桑島生涯学習スポーツ課長】

予算額は 405 万円です。音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的として、今年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、市内の音楽関係の催しを紹介する「音楽関連情報の発信」、生の優れた音楽に触れる機会として「小・中学校への音楽家の派遣」を進めてまいります。

## 基本目標Ⅲ「どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」

### 1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

【桑島生涯学習スポーツ課長】

予算額は 372 万 1,000 円です。毎年恒例の市民ロードレース大会や市民水

泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、多くの市民の方がスポーツを通じて健康増進や体力向上に取り組みめるよう事業を進めてまいります。

## 2 市民体育館アリーナの空調設備の整備

【桑島生涯学習スポーツ課長】

予算額は、設計委託料として、2,623万5,000円を計上しています。近年の猛暑をはじめとした気候に対応し、運動環境の向上と災害時の避難所として避難者の生活環境の改善を図るため、市民体育館アリーナに空調設備を設置しようとするもので、令和8年度は整備工事の設計を実施してまいります。

【頼高市長】

それでは、皆さまよりご意見・ご質問をお願いしたいと思います。

【石山委員】

西公民館等複合施設整備事業ですが、令和9年3月の見込みということで、楽しみにしています。業者側の問題かもしれませんが、現在、建築資材の高騰や人手不足などの声も聞かれます。不安材料はないのでしょうか。

【荒川西公民館長】

先日、施工業者に確認したところ、最も懸念していたのがエレベーターで、一部では入荷まで2年待ちという話もありましたが、予定通り入荷できるのではないかとのことでした。本工事における工程表も、今一度、見直しをお願いしており、まだ完成には至っておりませんが、現時点では予定通り進められると伺っております。

【萩原委員】

これまでも、スクールロイヤー制度を導入して欲しいという声があり、今回予算をいただき、非常に心強いと考えております。実際には、起きた問題を解決することになると思いますが、教職員への教育をスクールロイヤーが行うなど、何か考えていることはありますか。

【吉岡教育部次長】

スクールロイヤー制度を導入するにあたり、教職員研修も盛り込んでおります。法的に、境目が分からないような部分などを明らかにしてくださる方々なの

で、何か起こった時の対応とあわせ、いろいろな予防という面でも、研修を行っていく予定です。

【萩原委員】

スクールロイヤーによる研修については、研修会を何度か開催することと思いますが、他に、例えばマニュアルを作っていただくなど、何か考えていらっしゃいますか。

【吉岡教育部次長】

マニュアルも含め、すでに行っている先進自治体もありますので、校長会からの要望も伺いつつ、予算の中でフル活用していきたいと考えております。

【中村委員】

一保護者としてのお願いになります。現在、いろいろな施設が移転するなど、工事が進んでおりますが、元々あった場所が閉所等すると、解体工事が開始されるまで、その周辺が暗くなります。子どもたちの通学路となっている場所もあるため、まちが暗くなると、治安の問題など、とても心配になります。図書館や西公民館など、施設が移転しても、元の場所を外灯の工夫などにより明るくしていただきたいと思います。

【頼高市長】

市内の道路照明灯（防犯灯）は、リース方式により一括でLED化しておりますが、錦町の区画整理地区などは順次追加するようにしております。お話いただいたとおり、公共施設があることによって、夜も明るかった場所が、その施設がなくなり暗くなったと感じることもありますし、物理的な明るさと、安心感はとても大事だと考えております。蕨市では、市民生活部安全安心課が防犯灯などの担当をしており、安全対策の対応をしておりますので、具体的に気が付いたことがありましたら、連携して取り組みたいと思います。

(2) その他

【頼高市長】

それでは、議題（2）その他について、事務局から何かありますか。

【佐藤総務部次長】

3点ほどご報告したいと思います。

まず1点目は、「令和7年度児童・生徒の活躍について」をご報告いたします。

【吉岡教育部次長】

第一中学校の音楽部が「埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト」で、県2位となり、金賞で県教育長賞を受賞しました。この後、3月15日の日曜日に静岡県静岡市で開催される「第15回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト」に埼玉県代表として出場することになっております。

【佐藤総務部次長】

2点目、「蕨市物価高騰緊急対策第5弾」についてご報告いたします。

市では、これまで4回に渡る市独自の物価高騰対策を講じてまいりましたが、依然として長く続く物価高騰の状況を鑑み、市民生活と地域経済を支援する「蕨市物価高騰緊急対策第5弾」を実施することといたしました。

内容の1つ目につきましては、全世帯の家計を応援し、市内の消費拡大を通じて地域経済の活性化、市内事業所への支援を図る暮らし応援券「織りなすクーポン第3弾」を行おうとするもので、全市民に1人7,000円のクーポンを支給するものです。クーポンの配布時期は7月、利用期間は8月から10月を予定しており、取り扱い店舗は大型店を含む市内登録店舗となっております。

次に、物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯に対し、0歳から高校3年生までの子ども一人当たり2万円の「物価高騰対応子育て応援手当支給事業」を行っております。児童手当の支給世帯に対しては、県南でいち早く、先月29日にプッシュ型の支給を行ったところであり、その他の対象世帯については、申請に基づき、順次支給を進めているところです。

3点目、令和8年度市長タウンミーティングについてご報告いたします。

市長タウンミーティングにつきましては、例年通り、「令和8年度の施策・予算について」とし、市長から皆様に市の取組についてお伝えし、皆様から、市のまちづくりについてなどのご意見を伺いたいと存じます。開催日程と会場につきましては、チラシに記載のとおり、前年同様の全7会場で実施いたします。7会場での実施となりますので、教育委員の皆さまにおかれましては、ご都合のよろしい際にご参加いただければ幸いです。

【頼高市長】

それでは、ただいまの説明について、皆さまよりご意見・ご質問をお願いいたします。

そのほか、事務局からは何かありますか。

【佐藤総務部次長】

今回の会議日程でございますが、10月に開催することを提案させていただきますが、いかがでしょうか。

また、本日の会議録につきましては、事務局で作成した後、皆さまにご確認をさせていただき、要領第6条の規定により公開をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【頼高市長】

ただいま、事務局から次回会議の開催時期について提案がありましたが、いかがでしょうか。

【一同】

異議なし。

【頼高市長】

それでは、次回の開催については、10月に開催することといたします。

以上で本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

#### 4 閉会

【阿部総務部長】

それでは、以上で本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。